

米の収穫作業が終了



クレーン付きのトラックが活躍

今年度の稲の収穫が終わりました。早生品種の稲刈りは9月中旬に、残りの大半は10月初旬に作業が行われました。月初は雨模様もありましたが、その後は晴天に恵まれ、作業は予定以上のペースで進みました。

ぶ量が、ほぼそのくらいの重量でしょう。後はお米の値段がいくらかで生産額が決まるわけです。

今や米価も国際的な競争にさらされるようになっています。TPPという大きな貿易協定の中では、日本の農業について今のままで良いのかという議論があります。経済評論家の寺島実郎氏は

の間、大きな袋をつり上げては、乾燥させるための施設にトラックで運

「日本の農業を守るためには、日本の全産業が英知を結集しなくてはいけない。」と警鐘を鳴らしていました。

天候に大きく左右される農業は、お天気任せの雰囲気がありますが、実際には経験に培われた「農業者の勘」に頼る部分も少なくありません。今年のノーベル化学賞を受賞した大村智北里大学特別名誉教授は「農家の作業は、まさしく科学者の実験と同じことをしている」と話していました。困難さは科学者の研究と同じことです。



刈り取りには3台の大型コンバインがフル稼働、打ち合わせは念入り

稲作に用いられる圃場は約25ヘクタールです。米の出来高を表すときに「反当8俵」などと呼びますが、その計算で行くと、1ヘクタールで約5トンの米がでるようになります。そのまま計算すると125トン程度の収穫があることとなります。

稲刈り作業



専用のトラクターをリースして作業を効率化

養分補給で収量のアップを

麦作の準備が始まりました。稲刈りが終わると土壌の養分補給として、鉄分などを含んだミネラル粒剤が撒布されます。関係者によると10アール当たり200kgの粒剤を撒布することです。今回の作付け予定は11.5ヘクタールとのことですから、約20トンあまりの粒剤が使用されます。この作業が終わると、圃場の地下排水の改良のため作業があります。その後耕転、畝立て、植え付けと冬に向かかって、大型機械を使つての作業が続きます。

懸命に生きる姿に感動の毎日



6班の神武さんの飼犬「タケル」君、専用の補助具で元気に走り回っています。しかし、そこには生きようとするタケル君のがんばりと、神武さんの献身的な手当がありました。

タケル君は今年で14歳になります。人間なら70歳以上かも知れません。昨年の9月、タケル君は夜の散歩に行きたくて仕方ありません。飼い主の神武さんにせがんで、夜中に外に出しても

らいました。そうして何日かを過ごしていました。ついつい足を伸ばしてみたくなり、榎野川沿いの県道まで行ってみることにしました。

真夜中の道路は自動車も滅多に走らないし、楽しそうに見えたのですが、光の束が見えたと思つた瞬間、タケル君ははね飛ばされて、激しく路面に叩きつけられました。

自動車にはねられたのです。普通のドライバーなら、そのまま通り過ぎたでしょう。ところが、その方は車を止め

庭先で写真撮影のために「ポーズ」(神武さんの庭にて)

タケル君の状態を確認、首輪にあつた神武さんの電話番号を見つけた。連絡を受けて神武さんは現場に飛んでいきます。

何とか自力で脱出しようと試みたタケル君は道路脇の水路で動けなくなりまして、深夜にもかかわらず、その場から獣医に連絡、緊急手術で命はつながったものの、後ろ足の自由を完全に失っていました。

神武さんの必死のお世話

で、タケル君は徐々に元を取り戻し、数ヶ月後には専用の補助具が取り付けられるまでになりました。

神武さんは「タケルは私たちの息子同様ですが、逆に私たちの方が元気つけられています。一所懸命に生きようとする姿に毎日感動しています。」

不幸にしてタケル君の事故の当事者となつた男性はその後、獣医師に容態を確かめるために連絡を取つています。そのことを聞いた神武さんは、「もう心配いりません、何のお気遣い無く普段の暮らしにお戻り下さい」と伝えたとのこと。災い転じて福となす、優しさこそ、一番の力なり。

朝市で健康増進



早朝の広場、静かにラジオ体操

八方原ふれあい朝市は、地元のみなさんには、無くてはならないものになってきました。毎週土曜の早朝から、常連さ

今年も大輪の菊に出会う



春から夏にかけてのお世話でこの見事さ

菊作り名人の藤田さんの菊が咲いています。「何回やっても、失敗ばかりで」とは本人の言葉ですが、どの花も大きく、美しいものばかりです。

んが集まってきました。秋も深まったこの時期だと、まずたき火の支度です。先月から新たに、ラジオ体操が始まりました。たき火も起こり、一息入れたところで、録音されたラジオ体操の音楽が始まります。おなじみの音楽に合わせて手足を動かして、体の状態を確かめ、健康維持に役立てておられます。あなたも参加しませんか。